

令和5年度第1回日進市総合戦略推進委員会 議事要旨メモ

日 時 令和5年7月18日(火) 午後3時から午後3時50分まで
場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室
出 席 者 鵜飼宏成、高木伸治、水嶋義弘、亀倉正彦、柴田幸美智、松本崇平、三隅晋吾、久田孝志、堀修、小金澤衣里(敬称略)
欠 席 者 なし
事 務 局 萩野一志(総合政策部長)、岩瀬雅哉(同部調整監)、小出誠二(同部次長兼企画政策課長)、窪田健一(同課同係主査)、佐藤成俊(同課同係主任)

説明の為に出席 岡田剛(産業政策部農政課課長補佐)

席した者

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有(3名)

次 第

1 開会

2 自己紹介

3 報告事項

企業版ふるさと納税について

4 議題

第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業及び指標の検証について

5 閉会

配布資料

資料1 企業版ふるさと納税について

資料2 第2期日進市まち・ひと・しごと創生推進計画

資料3 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証表

資料4 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 修正案

資料5 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略該当部分抜粋

会議要旨

1 企業版ふるさと納税について

(1)企業版ふるさと納税を多く集める工夫として、取り組んでいることがあるか。

企画政策課)⇒自動運転バスや道の駅など、日進市の特徴を捉えた事業に特化し、より詳細に事業内容を説明しながら寄附にご協力いただくようお願いをしております。また、令和4年度から財務政策課にふるさと納税係を設置しており、体制の強化を進めております。

(2)市外の企業が寄附しやすいようにホームページなどを活用した PR はしているか。

企画政策課)⇒企業版ふるさと納税では個人に比べ、寄附額が大きくなる傾向があるため、まずは直接企業を訪問し、説明をさせていただいております。今後の展開として、インターネットを活用した PR も検討していく必要があると考えています。

(3)企業が寄附をする契機として、営業訪問以外に考えられることは何か。

企画政策課)⇒今までの経験上、企業にとって節税効果がある上、自治体に寄附をすることで施策に協力できるという点が一番の魅力であると考えています。また、日進市の知名度を上げていくことで、企業にとっても PR につながるよう取り組んで参ります。

(4)ネーミングライツやバスのラッピングなどは実施しないのか。

企画政策課)⇒担当課に検討するよう依頼しております。

(5)全体の収支はいかがか。流出額の方が多いのでは。

企画政策課)⇒調べて回答させていただきます。個人部門では流出額の方が多いため、少しでも寄附額を増やすよう、返礼品の強化などに取り組んでおります。

(6)企業側として、寄附をする際に重視するものは社会貢献と企業イメージである。節税効果よりも企業版ふるさと納税の中身が重要であり、自治体が何に力を入れて取り組んでいるのかを知りたい。市の特徴を前面に出すことで企業が力を入れている社会貢献や企業イメージとつながることが多いため、日進市の特徴を多くの企業に知ってもらう必要があり、インターネットを活用した PR は重要であるとする。

2 第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る主な事業及び指標の検証について

(1)「〇〇の割合」とすることで様々な要因で数字が上下するため、指標としてはあまり向いていない。今回で言えば「学校給食における日進市産食材の使用量」としたほうが要因を分析しやすいのではないか。

農政課)⇒割合ではなく、使用量とした場合、日進市では子どもの数が増えておりますので、事業を展開しなくても自然と使用量は増えていくため、この指標を提示させていただきました。ただ、ご意見のとおり、要因が分析しやすくなるよう検討したいと思います。

委員)⇒その理由はわかりませんが、指標としてわかりやすくするために工夫をしてください。今の内容ですと、たとえば、一人当たりの使用量とするなどで解決すると考えます。

(2)学校給食においては安定供給が非常に重要であり、リスクコントロールをする観点からすると、その適正割合を検討する必要がある、大事な考え方である。また、相乗効果の部分として、地産地消を促すことでシビックプライドやキャリア教育につながるため、都市の発展において、波及効果が大きいと言える。

3 その他

市制30周年記念ロゴマークの決定について